

鈴木有郷牧師説教

9/5/10 カナでの奇跡:その意味は? ヨハネ2:1-11

主イエスは多くの奇跡を行われました。その意味を理解するためには、奇跡の行為そのものではなく、奇跡が何を意味しているかを把握しなければなりません。奇跡が何を示しているかを考えずに、奇跡の超自然的現象だけに注目するならば、私たちはその最も重要な部分を見落としてしまうこととなります。

カナという村での結婚式に招かれたイエスの奇跡に的を絞って考えてみましょう。今朝読んで頂いたヨハネによる福音書の2章に記されているエピソードがそれです。

イエスとその母マリア、それに彼の弟子達がカナでの結婚式に招かれました。イエスの時代においても、結婚式は本人達は勿論、その家族にとっても最もお目出度い時でした。婚礼のパーティーは7日間続き、村中の人々が踊り、歌い、大量の食べ物を前にして、酒を酌み交わしたのです。

当時の人々の食べ物が、せいぜい干し魚と数切れのパンとそれに果物が少々であったことを考えると、まさに考えられないような贅沢な一週間だったわけです。

婚礼のパーティーで一番大切なのは質の高い葡萄酒を用意することでした。それを十分用意できなかったりするの、新郎と新婦とその家族にとって最も不名誉なこととされていたのです。

さて、カナでの婚礼パーティーで、マリアは大変なことに気づきます。葡萄酒が足りなくなっているのです。招待する側ではなく、招かれた側にいたマリアにとっても、これは大事だったのです。彼女は息子のイエスにささやきます。「大変、大変。葡萄酒が足りなくなっているわ。」

イエスはうろたえる母親を沈め、水を素晴らしい葡萄酒に変え、その場を救ったというのです。

これがカナでの結婚式の奇跡の概要です。このエピソードの超自然的性格だけに注目するならば、私たちはその最も重要な意味を見失ってしまうこととなります。

このエピソードが示すもの、それは、イエスがいる所では、葡萄酒は絶対なくなることはないという信仰の告白です。

つまり、私たちがパニックに陥ってしまうような時、心が落ち込んでしまってどうにもならない時、絶望の淵に立たされてにっちもさっちも行かなくなった時、主イエスは私たちを救い上げてくださる、という信仰の告白なのです。

主イエスの次の言葉を思い出してみましょう。「重荷を負っているすべての人よ。来なさい、わたしの下へ。慰めてあげる、そのあなたを。」カナでの結婚式の奇跡は、この言葉の絵解きなのです。

ですから、この奇跡は今も行われているのです。私たちが主イエスの存在を身にしみて感じる時、水は葡萄酒に変えられるのです。深い悲しみの中で、慰めを得る時、水は葡萄酒に変えられるのです。わたしたちが共に賛美を歌い、祈りを捧げる時、水は葡萄酒に変えられるのです。奇跡は今、現在起こっているのです。

今朝、ニューヨークで何千というクリスチャンが礼拝堂で礼拝を守っています。世界では、何億というクリスチャンが礼拝を守っています。

その人たちと私たちは、共に、カナの結婚式に招かれているゲストなのです。イエスの福音の証し人となのです。主イエスは2000年前と同じように、今も水を素晴らしい葡萄酒に変えてくださっているのです。